

浪江町民が選んだ防災グッズクイズ 報告書

◆企画の目的

震災から15年が経過し、震災の記憶が風化していく中で、当施設の来館者に対して、災害時の備えを改めて考える機会の創出と防災意識の向上を図る事を目的に実施しました。

その実施方法については、震災当時どんな防災グッズが役に立ったのかを浪江町民の皆様から事前アンケートをご回答頂きました。その情報を基に「浪江町民が選んだ防災グッズクイズ」を作成し、震災遺構請戸小学校の来館者にご回答頂きました。

◆開催期間

・「浪江町民が選んだ防災グッズクイズ」事前アンケート

対象者：浪江町民の皆様

期間：2026年1月上旬～2026年2月1日(日)

・「浪江町民が選んだ防災グッズクイズ」

対象者：来館者

期間：2026年2月21日(土)～2026年3月31日(火)

震災時浪江町民に実施した事前アンケートと来館者が予想したクイズの回答を比較するため、以降の報告書の表記を

・「浪江町民＝体験者」

・「来館者＝予想者」

とします。

◆「体験者」と「予想者」の回答数

・体験者

合計回答者数

50名

=

手書き回答

11名

+

QRコード回答

39名

・予想者

合計回答者数

139名

=

手書き回答

70名

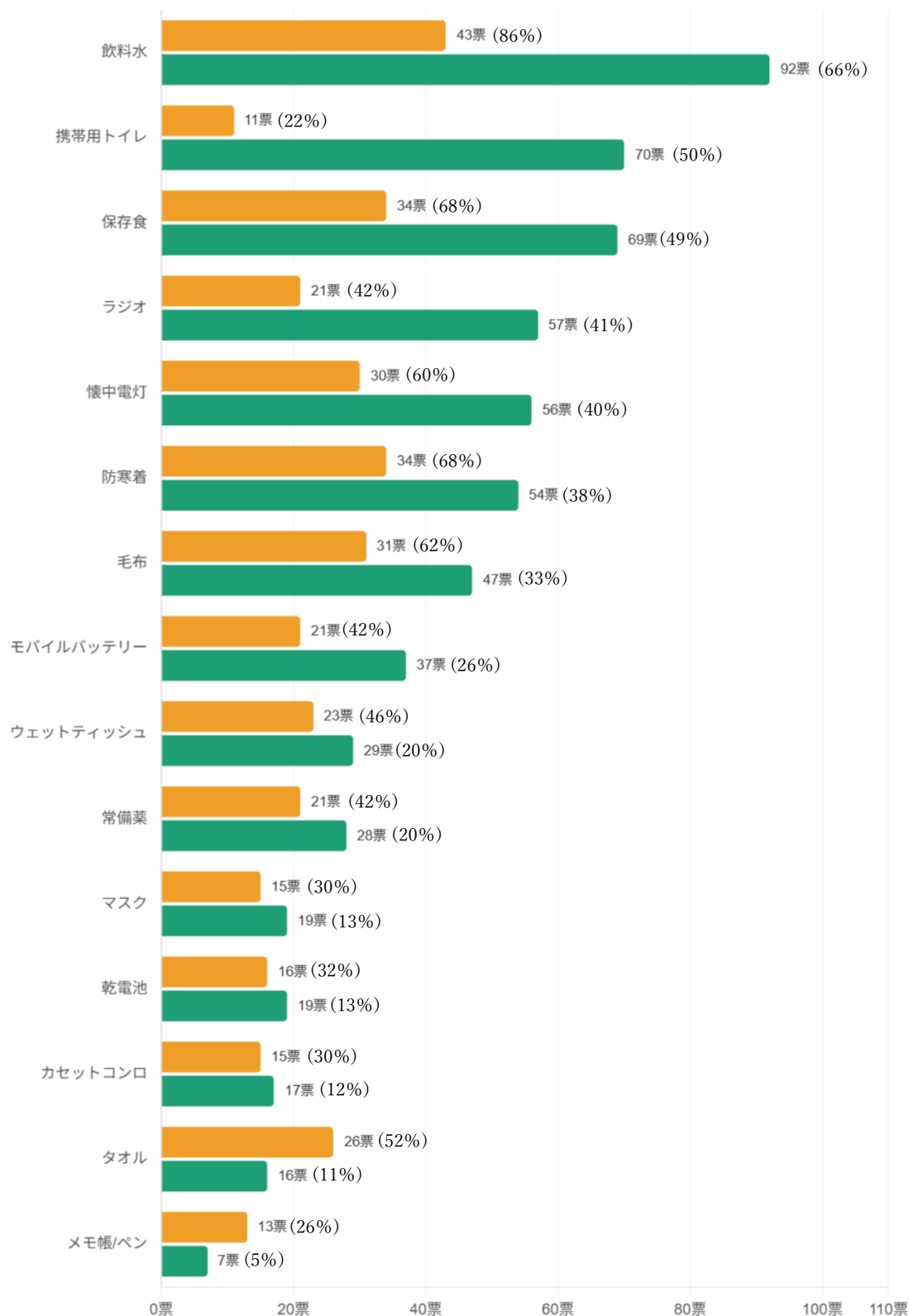
+

QRコード回答

69名

◆「体験者」と「予想者」と回答分布図

■ 体験者の結果(票数/割合) ■ 予想者の結果(票数/割合)



▼TOP 5 の体験者について

体験者 TOP5 QR39名+手書き11名 計50名			予想者 TOP5 手書き70名+QR69名 計139名		
順位	グッズ名	票数	順位	グッズ名	票数
1	飲料水	43票	1	飲料水	92票
2	防寒着	34票	2	携帯用トイレ	70票
2	保存食	34票	3	保存食	69票
4	毛布	31票	4	ラジオ	57票
5	懐中電灯	30票	5	懐中電灯	56票

TOP5 一致・不一致 ○×表

体験者 50名 vs 予想者 139名

グッズ名	体験者 TOP5入り	予想者 TOP5入り	一致/不一致	体験者の順位・票数	予想者の順位・票数
飲料水	○	○	✓一致	1位 43票	1位 92票
保存食	○	○	✓一致	2位 34票	3位 69票
懐中電灯	○	○	✓一致	5位 30票	5位 56票
防寒着	○	×	×不一致	2位 34票	6位 54票
毛布	○	×	×不一致	4位 31票	7位 47票
携帯用トイレ	×	○	×不一致	11位 11票	2位 70票
ラジオ	×	○	×不一致	7位 21票	4位 57票

○=TOP5にランクイン ×=TOP5圏外

【TOP5 項目別分析】

✓両方一致 飲料水

体験者:1位 (43票) / 予想者:1位 (92票)

震災時の状況

東日本大震災では多くの地域で断水が発生し、「水」は非常に貴重なものとなった。

両方1位の理由

水は人間が生きるために不可欠なものであり、飲用だけでなく衛生環境を保つためにも必要。体験者・予想者ともに票数が最多となった。

✓両方一致 保存食

体験者:2位 (34票) / 予想者:3位 (69票)

震災時の状況

地震の影響による道路・交通網の麻痺やガソリン不足により流通が滞り、スーパーやコンビニなどの食料品が不足した。

両方上位の理由

飲料水と同様、人間が生きるために欠かせないものとして、体験者・予想者ともに上位にランクインした。

✓両方一致 懐中電灯

体験者:5位 (30票) / 予想者:5位 (56票)

震災時の状況

電力の供給が途絶え、夜になると何も見えない状況が続いた。懐中電灯やろうそくを用いて過ごしていた。

両方TOP5の理由

懐中電灯は携帯電話の光では届かない所まで照らすことができ、SOSを発信する際にも遠くまで光が届くため、救助を求める手段としても有効なグッズとして、TOP5にランクインした。

★体験者のみ 防寒着

体験者:2位 (34票) / 予想者:6位 (54票)

震災時の状況

3月の東北はまだ寒く、雪もちらつく季節。燃料不足や停電により、屋内にいても寒さが残る厳しい状況が続いた。

体験者のみの理由

東北の厳しい寒さの中で実際に被災した体験者にとって、防寒着は命に関わる必需品だった。予想者も54票と高い票数を得ているが、体験者ほどの切実さが順位に反映されなかった結果といえる。

★体験者のみ 毛布

体験者:4位(31票) / 予想者:7位(47票)

震災時の状況

防寒着と同様、東北の厳しい寒さの中での被災体験が背景にある。

体験者のみの理由

冬の被災を実際に経験した体験者ならではの視点から、防寒着に続き毛布もランクイン。体温維持のための寒さ対策グッズを重視した選定となった。

● 予想者のみ **携帯用トイレ**

体験者: 11 位 (11票) / 予想者: 2位 (70票)

震災時の状況

断水や下水管の寸断によって水洗トイレが使用不可になるケースが多く、衛生環境の悪化や健康被害が各地で発生した。

考察

断水=水洗トイレが使えないというイメージから、予想者の中で携帯用トイレの重要度が高く評価され2位にランクインした。ただし実際には、上下水道の被害状況によって異なり、給水車などで確保した水を使ってトイレを使用できたケースもあった。

● 予想者のみ **ラジオ**

体験者: 7 位 (21票) / 予想者: 4位 (57票)

震災時の状況

地震の影響で多くの基地局が機能を停止し、通信の集中によって携帯電話の通信環境にも制限が生じた。

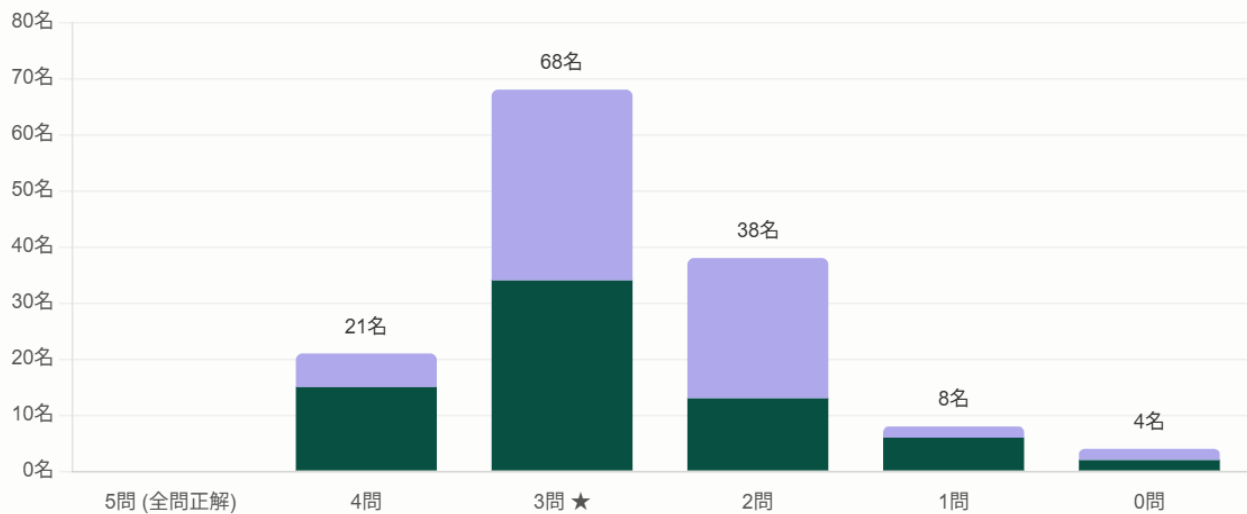
考察

災害時の情報収集は自分の命を守ることに直結するため、予想者の防災意識の高さが反映された結果といえる。

◆クイズ正解数 (全体回答者 : 139 名)

5 問(全問正解)	4 問	3 問	2 問	1 問	0 問
0 名	21 名	68 名	38 名	8 名	4 名

■ 手書き (70名) ■ QR (69名)



全問正解した予想者は 0 名でした。

◆現在、防災グッズを準備していますか？(全体回答者：139名)

している	していない
64名	35名
今後準備予定	未回答
37名	3名



◆「準備をしている」方はどのような防災グッズを準備していますか？

体験者の準備品・その他

浪江町民 手書き11名+QR39名 計50名

「その他」選択肢外の自由記述

ロープ・工具類 (45Lゴミ袋・ナイロン袋含む)	6件
モバイルバッテリー	4件
燃料・ガソリン (常に満タンに)	3件
防寒グッズ (毛布(車中泊でも活躍)含む)	3件
現金・貴重品	3件
その他衣類	3件
簡易トイレ (尿取りパッド含む)	3件
カセットコンロ	2件
マスク・衛生用品	2件
食料・保存食	2件
トイレットペーパー (買い置きして近所に配布)	2件

体験者ならではの声：

簡易トイレ 尿取りパッド・ナイロン袋など
トイレのない避難場所で非常に役立った

ロープ・工具類 45Lゴミ袋が防寒着代わりに活用
取っ手付きナイロン袋はバッグ代わりに

燃料・ガソリン ガソリンは常に満タンにしておく

防寒グッズ 毛布は車中泊でも大活躍

トイレットペーパー 買い置きして近所に配り喜ばれた

予想者の準備品

手書き70名+QR69名 計139名

水・飲料水	49件
食料・保存食	39件
懐中電灯・ライト	21件
簡易トイレ	16件
防寒グッズ	16件
マスク・衛生用品	12件
カセットコンロ	8件
常備薬・医薬品	7件
モバイルバッテリー	6件
ラジオ	6件
ロープ・工具類	6件
防災バッグ・セット	5件
ヘルメット	4件
その他衣類	4件
現金・貴重品	3件
乾電池	3件
トイレットペーパー	2件

準備している防災グッズを比べてみると、体験者の方々は「ロープ・工具類」の票が多かったです。身の回りのものを活用して必要なモノを作ったり、モノをまとめたりなど様々な用途で活用できるグッズが活躍したそうです。その他には「尿取りパッド」や「45Lゴミ袋」の記載もありました。「尿取りパッド」は簡易トイレの代わりに、「45Lゴミ袋」は防寒着の代わりになるなど、体験者だからこそその回答も見受けられました。

予想者の方々は「水・保存食」の票が最も多く、基礎的な防災グッズを準備されている印象でした。

◆まとめ

今回のクイズ実施にあたり、まず初めに浪江町民の皆様を対象に「震災時に役立つ防災グッズ」に関する事前アンケートを行いました。浪江町役場のご協力のもと、広報紙「広報なみえ」にアンケートを掲載し、最終的に50名の町民の皆様からご回答をいただきました。

その後、このアンケート結果をもとにクイズを作成し、請戸小学校に来館された139名の方々にご回答をいただきました。回答の中で、10代20代(震災当時の記憶がほとんどない子どもや当時の小中学生)の回答者が全体の半数以上を占める結果となりました。この結果から、若い世代の防災に対する関心の高さがうかがえました。また、来館者の居住地は東北から九州まで全国各地に及んでいましたが、その中でも関東地方からの来館者が特に多い結果となりました。

「体験者」と「予想者」が選んだ防災グッズを比較したところ、双方の結果に若干の違いが見られました。比べてみるとTOP5のうち、「飲料水、保存食、懐中電灯」は「体験者」「予想者」共に一致しました。一方、「体験者」のTOP5では「毛布」と「防寒着」がランクインし、実際の被災現場を経験した体験者だからこそ、厳しい寒さの中での低体温症対策など、命に直結するグッズが上位に集まった結果となりました。「予想者」では「ラジオ」や「携帯用トイレ」など、情報収集や衛生面を重視した実用的なグッズが選ばれる傾向が見られました。

残念ながら全問解答した予想者はいませんでした。今回のクイズを通して、震災当時本当に必要だと感じたものを知ることができました。今回は、震災時まだ寒さが残る3月の東北の震災を経験した浪江町民様に「役にたった防災グッズ」のアンケートを取りましたが、もし「真夏だったら」「他の地域にだったら」など、災害時の時期や場所、環境によって、役に立つ防災グッズは異なる可能性が高いと思います。今回の企画をきっかけに、改めて災害時の「備え」についてご家族や大切な方と話し合ってもらえればと思います。

防災グッズの準備に関する質問では、全体の半数以上が「準備していない」という状況でしたが、クイズの感想には「非常に参考になった」「見直す機会になった」との声が多く寄せられ、改めて備えを考えるきっかけを提供できたと感じます。また、浪江町民の皆様への温かいメッセージも多数いただきました。別添資料にまとめておりますので、ぜひご覧ください。

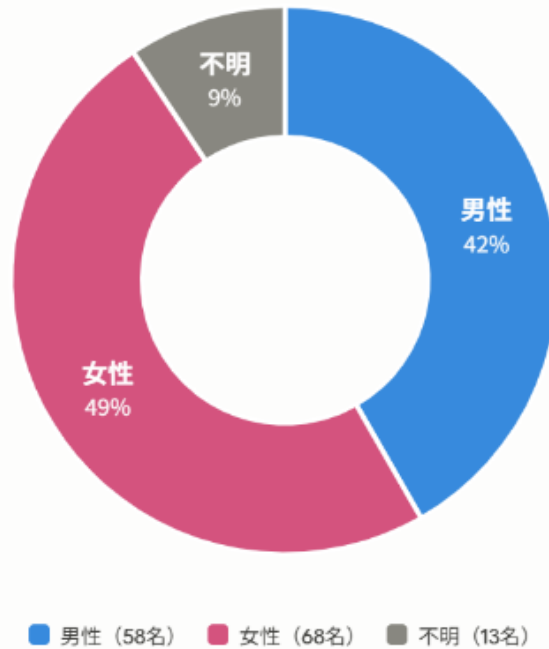
福島県唯一の震災遺構である請戸小学校は、震災伝承において極めて重要な意義を持つ場所です。一人でも多くの方に震災の教訓を伝え、当施設の理解を深めて頂けるよう誠心誠意尽力してまいります。

別添資料

◆予想者 139 名の詳細内訳

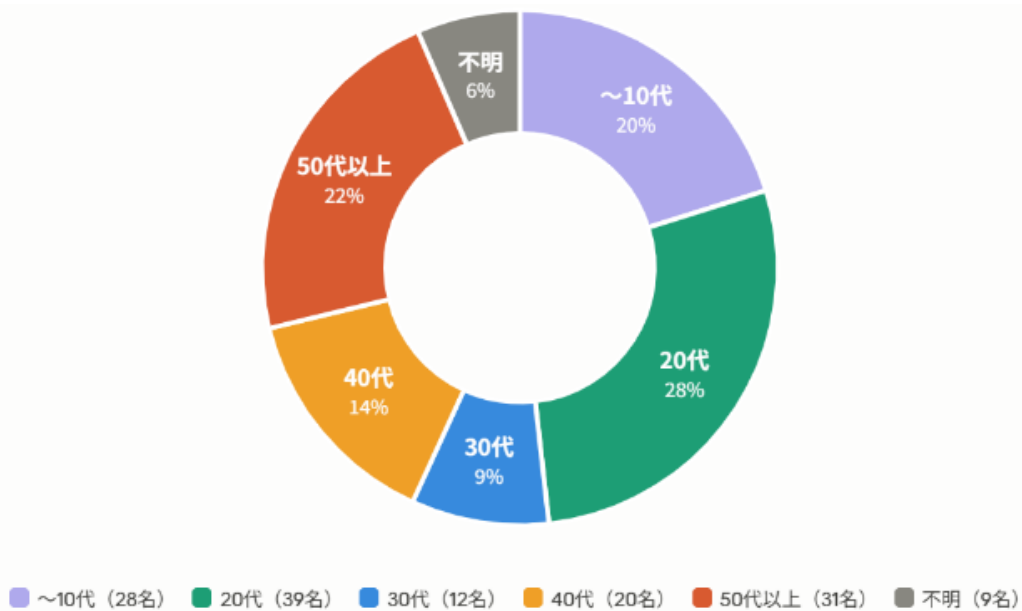
・性別

男性	女性	不明
58 名	68 名	13 名

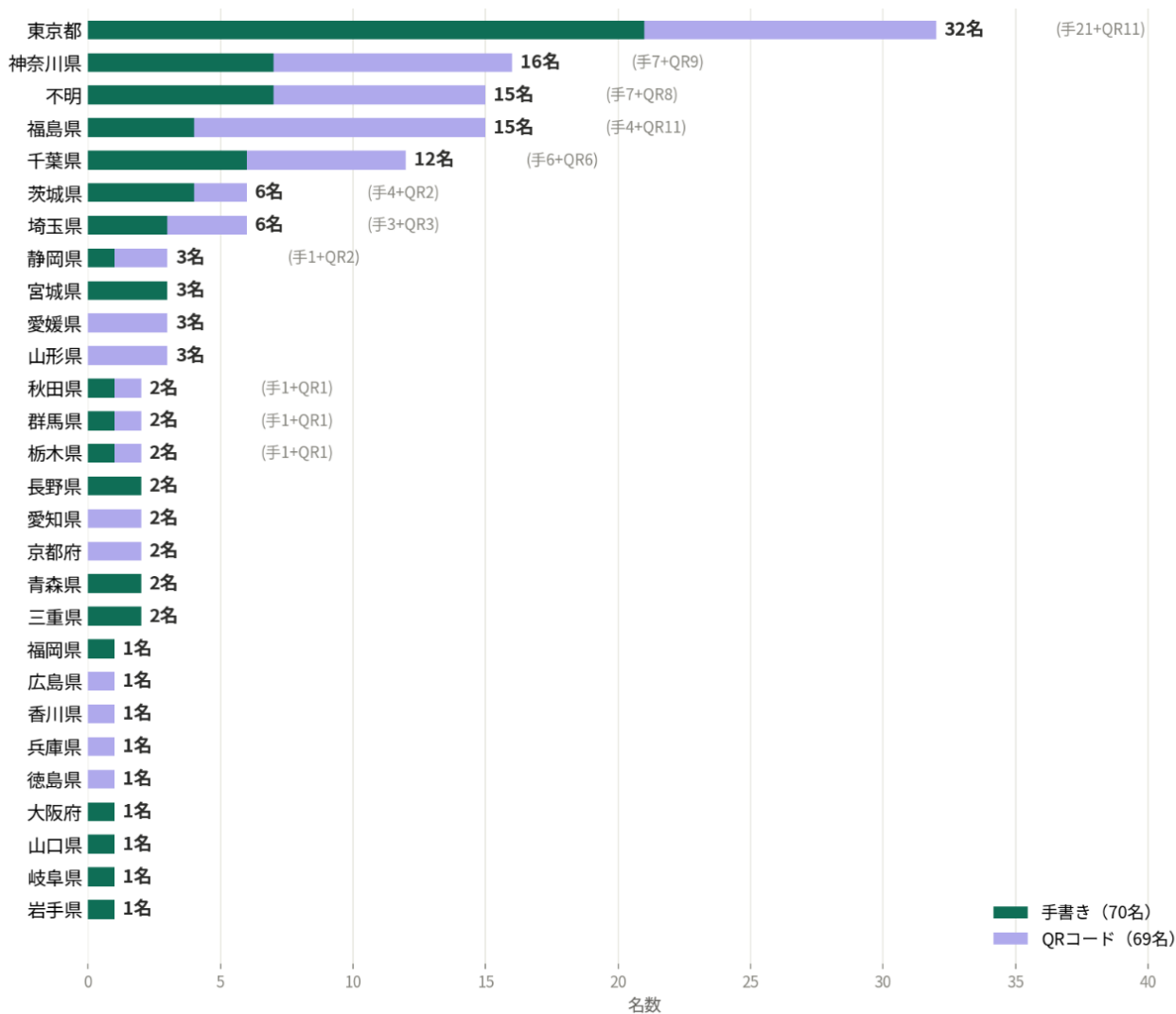


・年齢

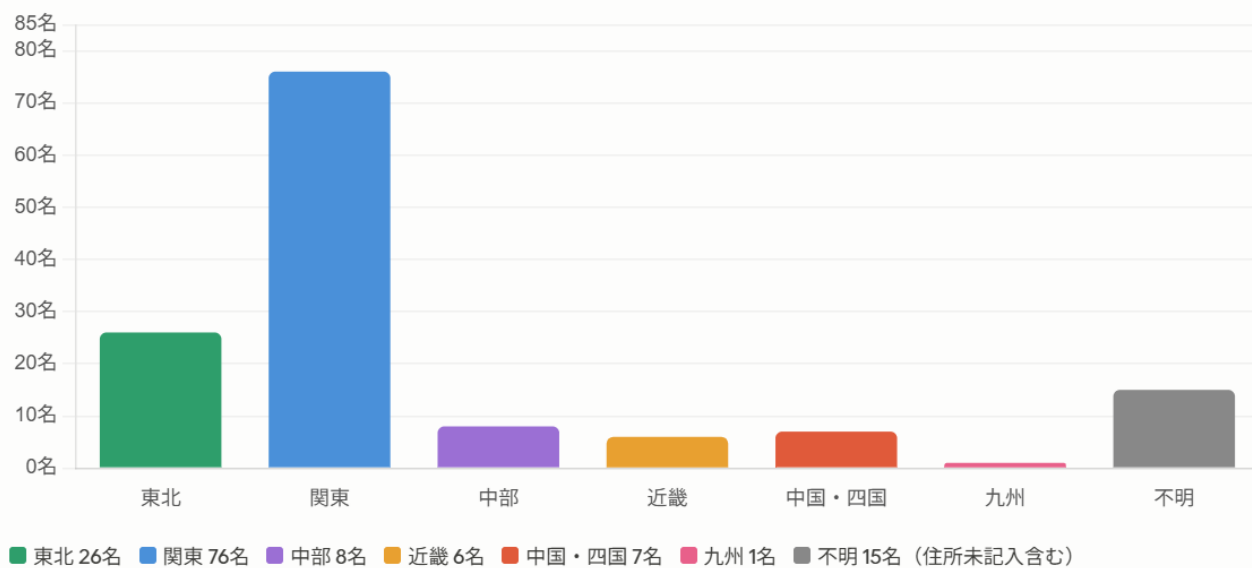
～10代	20代	30代	40代	50代～	不明
28 名	39 名	12 名	20 名	31 名	9 名



◆都道府県別解答数



◆地域ブロック別内訳



◆この「浪江町民が選んだ防災グッズクイズ」をやってみていかがでしたか？

- ・参考にしたいです（8歳/千葉県）
- ・地震が起きたら大変だなと思いました（6歳/福島県）
- ・楽しかった。防災グッズを見直そうと思った。（9歳/千葉県）
- ・選択肢が絶妙で面白いと思いました。（20歳/東京都）
- ・クイズの選択肢を見て、季節ごとでも必要な防災グッズは違うのだと、瞬間的に意識するきっかけになりました。（22歳/神奈川県）
- ・防災グッズは近いうちに準備しようと考えていたので、どのようなグッズを用意すればよいかを考えるきっかけになりました。（22歳/神奈川県）
- ・どれも必要なものだと感じられる。（53歳/栃木県）
- ・準備したほうがいいものを知れた（10歳/千葉県）
- ・答えを教えてくださいました。それに、防災グッズを準備していなかったので今後準備したいなとも思いました。（12歳/東京都）
- ・難しかった（10歳/三重県）
- ・生の声は非常に重要なので参考にしたい（36歳/千葉県）
- ・良い（74歳/静岡県）
- ・選択肢が絶妙で面白かったです（未回答/東京都）
- ・楽しかったです。防災グッズを見直そうと思った。（20歳/東京都）
- ・どれも必要と思うので、難しかったです。（54歳/埼玉県）
- ・5つに絞るのにとっても悩んだ（21歳/東京都）
- ・楽しかった。災害の時何が必要なのかが分かった。（9歳/千葉県）
- ・もっとたくさん備えないといけないと思った。（7歳/東京都）
- ・難しかったから勉強になりました。（7歳/福島県）
- ・難しかった（15歳/東京都）
- ・何と書いて良いものかわかりません（未回答/東京都）
- ・ちょっと悩んだな（7歳/福島県）

- ・ 難しかったです (20 歳/神奈川県)
- ・ 実際に災害が起こった時を考えるきっかけになった。(24 歳/茨城県)
- ・ 防災用品を考えるきっかけになり良かったです。(38 歳/宮城県)
- ・ 災害時に本当に必要な物を見極めるのが思っていたほど難しくなかったです。(20 歳/東京都)
- ・ 浪江町の避難所が実際どんな場所だったのかを想像しながら取り組むのが面白かったです。
(20 歳/東京都)
- ・ どれも必要だと思うのどれが優先が高いかをちゃんと考えて準備しないといけないと思いました。
(20 歳/大阪府)
- ・ なかなか難しい択一問題でした (57 歳/千葉県)
- ・ 楽しかった (20 歳/神奈川県)
- ・ 難しかったから勉強になりました。(15 歳/東京都)
- ・ 防災グッズは近いうちに準備しようと考えていたので、どのようなグッズを用意すればよいかを考えるきっかけになりました (36 歳/千葉県)
- ・ 面白い・関心が更に沸いた (未回答/東京都)
- ・ 具体的を身近にしているので非常にいいと思います。(57 歳/千葉県)
- ・ たのしかった。私はまだ防災グッズを準備していなかったので少し危機感もちました。
(20 歳/東京都)
- ・ とても考えさせられた。全部必要だと思います (20 歳/東京都)
- ・ どれも大切だと思うので絞るのが大変でした。(21 歳/東京都)
- ・ 結構難しいです (40 代/東京都)
- ・ 災害について改めて考え直す良い機会だと思いました。また危機感も同時に覚えました。
(10 代/神奈川県)
- ・ 難しかったです。(20 代/千葉県)
- ・ 答えが合っていないかもしれないのでドキドキ… (60 代/福島県)
- ・ 自分のこととして考えられるようになりました。(50 代/茨城県)
- ・ 想像が難しい。(60 代/福島県)
- ・ 考えるきっかけとなった (50 代/未回答)

- ・回答をしながら、実際に避難をした場合何が必要になるのかを考えることが出来ました。私自身、避難所での生活をしたことがないため想像のみで考えることになりましたが、今後防災グッズを揃えていくにあたっての良い参考になりました。ありがとうございます。(20代/群馬県)
- ・モバイルバッテリーなど新たに追加するキッカケとなった(50代/東京都)
- ・防寒着や毛布が、冬に被災した浪江町の人らしいと感じた。(20代/愛媛県)
- ・実際に震災を体験した方が思うものを予想できて面白いと感じました(20代/愛媛県)
- ・どれも必要そうだと改めて感じました。(20代/愛媛県)
- ・自分の準備品と比較でき参考になりました。(50代/福島県)
- ・リアルに考えました。(40代/秋田県)
- ・改めて防災意識の大切さを痛感致しました。(50代/京都府)
- ・意外となにが必要とされてるのがわからなかったのと、避難所に行くまでではなく、避難所で防災グッズを使うことに驚いた。(20代/愛知県)
- ・防災用品を見直す機会となりました。ありがとうございます。(40代/山形県)
- ・防災を改めて考えられる。(40代/福島県)
- ・実際に、ライフラインが途絶えた時、避難所での生活を想像しながら、一生懸命に考えた。(50代/広島県)
- ・体験した方の意見が気になりました(40代/未回答)
- ・思ったより難しく、また考えさせられる良い問題と思いました。回答が気になります。(30代/神奈川県)
- ・難しい(50代/未回答)
- ・避難所の生活で本当に必要であったグッズを経験者の方から教えて頂き、いざという時に備えておきたいです(60代/神奈川県)
- ・実際に被災した方々から見た防災グッズのことを考える機会が無かったのでかなり熟考しました。(20代/山形県)
- ・緊急時の際、普段の生活の中で何を備えておけば良いのか見直すきっかけになりました。また老若男女問わず参加しやすい企画だと思います。(30代/福島県)
- ・防災意識が高まった(50代/千葉県)
- ・避難所での生活を想像することができ、防災の意識が高まりました。(50代/千葉県)

- ・ 請戸小学校に行ってパンフレットにこのクイズが入っていたのでやってみました。震災から 15 年。忘れかけていたあの日のことを思い出し、直撃の被害を受けた浪江の皆様思いを寄せることができました。(30 代/千葉県)
- ・ 体験者の意識で選ばれたものなので、納得できる。多くの人が、これらから学んで、備えてほしいし、私自身も備えていきたい。(70 代/千葉県)
- ・ 地震のことを風化させず、いつ訪れるか分からない災害への備えは大切だと思った。(40 代/東京都)
- ・ 楽しくて学べた (40 代/福島県)
- ・ いま南海トラフが近く起こると言われているので、私が被災したら…と考えた時に、何が必要なのか考えるきっかけになりました。全て必要な!?と思いつつ、全てを持って行動するというのも難しいな…とか、家族で一度話し合わなきゃいけないと改めて考えさせられました。(40 代/香川県)
- ・ 選択肢が多く、かなり迷ってしまった。(20 代/静岡県)
- ・ 興味がある (50 代/東京都)
- ・ 災害時のことを考えるきっかけになりました。(20 代/東京都)
- ・ 防災意識の向上につながるのとても良い (40 代/山形県)
- ・ 難しかった (40 代/埼玉県)
- ・ 改めて防災への意識を高めようと思えたのでよかった。(20 代/福島県)
- ・ 最小限の荷物を持って行く時、どの防災グッズが一番大事なのか考える機会になった。(10 代/神奈川県)
- ・ 防災について想像してより意識するようになった (40 代/未回答)
- ・ 5 つに絞るのが難しいくらいどれも必需品に感じ、普段の生活で様々なものを使っていると実感した。(20 代/神奈川県)
- ・ 5 つに絞ることで、真に必要な物を考えるきっかけになった。(50 代/未回答)
- ・ なかなか難しいです。(50 代/神奈川県)
- ・ 災害について考えることができて良かったです。(10 代/静岡県)
- ・ 改めて防災グッズについて必要なものを考えてみて、想定することの大切さと優先順位をつける難しさを感じました。(20 代/神奈川県)
- ・ 避難する環境や状況によって、品物が変わると思うので、難しかった！ (30 代/福島県)

- ・改めて何が必需品か考えるきっかけになった。自分で用意している物の他に、避難所や町内で備蓄している物も気になった。(20代/神奈川県)
- ・すべてあったらいいなと思うものばかりで、5つ選択するのに、とても考えました(50代/千葉県)
- ・難しかったです。(40代/未回答)
- ・なかなか難しい(40代/栃木県)
- ・再度防災について考え家族にも伝えたいと思います(50代/埼玉県)
- ・私も防災士を取得しているのでプラスアルファ勉強になりました。(20代/埼玉県)
- ・参考になります(50代/福島県)
- ・現在常備していない物が選択肢に多く迷いました。(20代/福島県)
- ・興味深い企画でした(40代/未回答)
- ・どれも必要そうでベスト5まで決めるのは難しかった。(20代/福島県)
- ・実際避難された方が、どのようなものを必要だったかを想像することができた(50代/東京都)
- ・被災した際にどんなものが役に立つのか想像がつかず、難しかった。(10代/東京都)
- ・改めて防災意識を感じた(50代/茨城県)

◆浪江町の皆様へメッセージをお願いします。

- ・がんばって下さい。(8歳 /千葉県)
- ・がんばってね(6歳 /福島県)
- ・地震がおきたて大変だったんだなと思った。これからもみんな頑張ってください。(9歳 / 福島県)
- ・大変でしたけど頑張りましたね。(9歳 /千葉県)
- ・また来たいです！(20歳 /東京都)
- ・つらかったけど、これからも頑張ってください。(10歳 /千葉県)
- ・浪江やきそば、海鮮丼、おいしかったです。また食べてみたいです！(22歳 /神奈川県)
- ・震災時テレビで放映していた映像が忘れられません。私も2回お米をといて近所の人におにぎりとお配りました。頑張ってください。(74歳 /静岡県)
- ・今後も浪江町に今まで通りの生活ができるように応援しています！！(20歳 /東京都)
- ・復興、がんばって下さい。そして、東日本大震災のことについて教えていただきありがとうございます(12歳 /東京都)
- ・自分は小学1年生の時に東日本大震災を経験しました。そして、自分は来年度から高等学校の教員になる予定です。2011年にまだ生まれていなかった子どもたちが増えていく中で自分の経験したことや学んだことを子どもたちに伝えていきたいです。(22歳 /神奈川県)
- ・良い町に生まれ変わることを期待しています。(20歳 /神奈川県)
- ・農作物がとても美味しいです。いつもありがとうございます！(21歳 /東京都)
- ・町のあちこちでまだ震災の後の様子を伺うことができました。近隣ですが、まだまだこの震災の事をよくしる必要があったと痛感しております。(53歳 /栃木県)
- ・がんばってください(10歳 /三重県)
- ・今回の訪問を通じて「自分事」として自覚できました。残す決断をして頂きありがとうございました。(31歳/東京都)
- ・15年という年月はつい忘れがちですが、まだまだ復興は終わっていないと思います。支え合って、がんばり過ぎずに続けて下さい。(未回答/福島県)
- ・今回2回目になります。皆さんの大好きな町、浪江町、とても素敵な所です。また来たいです。(24歳 /東京都)

- ・新たな生活、ガンバって欲しいです。(54歳 /埼玉県)
- ・浪江町の復興を心から願っています。(22歳 /東京都)
- ・これからも応援しています。「今」できることを常に考えて行動します。(43歳 /東京都)
- ・いろいろ、つらいことはありましたが、元気をだしてがんばってください。(10歳 /東京都)
- ・いろいろな、歴史があったので、勉強になってうれしいです。(7歳 /東京都)
- ・今日で請戸小学校には2回目の訪問ですが、前回訪れた時に再度訪れたいと強く感じた場所でした。メッセージと歴史をしっかりと胸に刻みます。生きていただきありがとうございます。(未回答 /東京都)
- ・お元気でお過ごしください。(20歳 /千葉県)
- ・心中お察しします。(20歳 /東京都)
- ・がんばって下さい！！(36歳 /千葉県)
- ・私は現在都内在住ですが、元浪江町民です。健康と安全を引き続き祈り願っています。(未回答/東京都)
- ・自分は2011年7月から毎週土曜日にいわま市にボランティアに来ていました。浪江町に協力出来なかった分、これから何らかの形で応援させていただきます。お元気に！！(57歳/千葉県)
- ・みんな仲間です。(54歳/青森県)
- ・これからも一緒にがんばりましょう！！(未回答/長野県)
- ・減災/防災の活動を地道に続けて下さい。(65歳/神奈川県)
- ・いつもお世話になっています！応援してます♪(21歳/神奈川県)
- ・年3回来るようにしています。少しでも人々が集い、戻ってこられる環境が整うこと、他の地域からも多くの人が集う場所になっていくことを願います。(59歳/東京都)
- ・ここに来たことをたくさんの人に伝えて、忘れられることのないように、知らない人が増えないように、考える機会を増やしていきたいと感じました。(21歳/長野県)
- ・身近みんなです応援しています。(54歳/群馬県)
- ・前を向いて生きていきましょう！！(17歳/福島県)
- ・遠くからですが復興を応援しています。(24歳/茨城県)
- ・起こったこと、復興するまでの努力、岐阜県でも活かしていければと思います！(11歳/岐阜県)
- ・町民のみなさまが選んだグッズをまわりの人にも伝えたいです。(8歳/宮城県)

- ・家族で遊びに来て、なみえやきそばと海鮮丼を食べてきました。とてもよい町で、また遊びに来たいと思います。(38歳/東京都)
- ・福島は必ず毎年1回来ます。大学で防災を学んでいて、3・11当時は東京にいたけれど、東北が大好きで自分にとっての故郷です！！私が浪江にできることは全然ないけれど、必ず通いつづけます！(20歳/東京都)
- ・初めて来ました。少しショックでしたが、浪江町の方々を応援します。(45歳/埼玉県)
- ・地震や津波があってもここまで復興させていて、僕は津波がきても何をしたらいいかわからないからすごいなと思った。(12歳/東京都)
- ・同じ福島県民として、がんばって行きましょう。(58歳/福島県)
- ・ずっと応援します。がんばってください。(未回答/東京都)
- ・15年、いろいろな思いがあると思います。前を向いていてほしいと思います。(53歳/栃木県)
- ・避難生活は大変だったとおもいますが、がんばってください。(7歳/福島県)
- ・頑張りましょう！！(20歳/東京都)
- ・このような「クイズ」の形式で災害について学ぶ機会など記憶を後に伝える取り組みはとても素晴らしいと思いました。これからも頑張ってください！(16歳/岩手県)
- ・亡くなった方たちが天国でゆっくり過ごして、今生きている人も命を大切にしてください。(9歳/未回答)
- ・浪江町に来たのはこれで2回目です。請戸小学校に来たのも2回目です。修学旅行で1年前に来ました。1年前と少しか変わった様子に驚きましたが、色々な方の協力があってこそこの「今」だと思っています。これからも、命を大切に、生きて下さい。心の中で応援しています。(12歳/茨城県)
- ・ずっと応援します。がんばってください。(未回答/東京都)
- ・また来たいです(40代/東京都)
- ・一日も早く復興しそれぞれなりたい暮らしになっていけることを願っています。また私自身も自分や周りの人の命を守るために行動できるようにしていきたいと思いました。応援しています。(10代/神奈川県)
- ・まだまだ復興には時間がかかることを知りました。皆さんと一緒に、幸せな暮らしができるように頑張っていきましょう！(20代/千葉県)
- ・もうすぐ15年ですね。あの頃小学生だった子供達は二十歳を越えましたか。大変な中をくぐりました。感慨深いです。頑張ってください。私は何も知らない関西の人間です。いわきに去年引っ越してきました。そして今日初めて請戸小学校に見学に来ました。(60代/福島県)
- ・初めて請戸小学校を拝見し衝撃を受けました。移住してでも応援したいです。(50代/茨城県)

- ・復興を加速され、早く戻れることを願っています。(60代/福島県)
- ・震災に負けずに頑張してほしい。また行きます。(50代/未回答)
- ・私は東日本大震災当時、小学生でした。ニュースや周囲の大人を通して出来事を知ることしかできず、これまで直接的に支援に関わることもできていません。それでも年月が経つ中で、震災の経験や教訓を忘れてはいけないという思いが強くなりました。今回のアンケートを通して、浪江町の皆様が日々どのような備えを考え、どのように暮らしを取り戻してこられたのかを学びたいと考えています。そして、その学びを自分自身の防災意識だけでなく、これからの社会やまちづくりを考える上での視点として活かしていきたいです。災害を経験された地域の声を大切にしながら、人と地域が安心して暮らせる社会について考え続けていきたいと思います。皆様から学ばせていただけることに、心より感謝しています。(20代 / 群馬県)
- ・これからも浪江町を訪問します(50代/東京都)
- ・学ばせていただきます。そして伝えます。(20代/愛媛県)
- ・支え続け、伝え続けます。ともに頑張りましょう(20代/愛媛県)
- ・東日本大震災での経験、後悔など、皆様が残してくださったものを後世に伝えていこうとおもいます。(10代/徳島県)
- ・自分の目で見て感じたことを大切な人に伝えます。(50代/福島県)
- ・早く通常の生活に戻れますように。(40代/秋田県)
- ・今回、読売旅行のツアーで請戸小学校を訪問させて頂きました。東北地震の悲惨な爪跡を目の当たりにし心が痛みました。迅速な避難により犠牲者が出なかった事が本当に良かったと思います。大変な状況の中で本当にお辛い中での咄嗟のご判断…本当に胸に込み上げてくるものがあります。防災意識の大切さを痛感致しました。(50代/京都府)
- ・約10年福島に関わる仕事をしておりましたが、この度転職することになり、最後に浪江の様子を伺いたいと思い訪問しました。まだまだ帰宅困難区域も多い浪江町ですが、未来に向けて着実に歩みを進めていると感じていました。これからも応援します！(30代/東京都)
- ・一緒に頑張ります(30代/東京都)
- ・請戸小学校を訪問した際、目の前にゴルフ練習場が作られていて、新しい建物も建ってきているのだなと思いました。(20代/愛知県)
- ・15年前に大変な被害にあった場所、子どもと一緒に今度お伺いします。(40代/山形県)
- ・更なる復興のためにお手伝いさせて下さい。(40代/福島県)
- ・大変な恐怖と悲しみと喪失感を体験されたことに、お見舞い申し上げます。いろいろな形で震災の体験と備えの大切さを伝えてくださって、ありがとうございます。(50代/広島県)

- ・ 請戸小学校や原子力防災館を見させていただきました。行って良い経験ができたと思いました。
(30代/神奈川県)
- ・ 町に戻れなくなった方も沢山いると思いますが、私を含め沢山の人があの日の災害を忘れないために、町の皆様の記憶を後世に伝えてください(50代/不明)
- ・ 先日、請戸小学校を見学いたしました。先生方、住民の方皆さんで一丸となって全児童を守る事ができ大変感動しました。(60代/神奈川県)
- ・ 皆さんの記憶やここで起きたことを永遠に、そして確実に語り継いでいけるよう微力ながら協力して参りたいです。(20代/山形県)
- ・ これからも浪江町がますます元気いっぱい発展していくことを願っています！！(30代/福島県)
- ・ なみえ焼そば美味しかったです！(50代/千葉県)
- ・ まだまだ、悲しみや苦しみは癒えないと思いますが、復興に向けて、自分ができることを模索していきたいと思います。皆さんも頑張ってください。(50代/千葉県)
- ・ 応援しています！(50代/東京都)
- ・ もう15年、まだ15年ですね。それでも道の駅など皆様が活気に溢れる姿を見られて本当に嬉しくなりました。ささやかながら請戸小学校の募金箱に募金をさせていただいております。後世に残る記録と語り部を失わず今後の対策も含めて元気にお過ごしください。浪江の壽って酒とめひかりが最高！！！！またくるぞ！！！！(30代/千葉県)
- ・ もう15年経ちました。今回訪れて、いまだに復興がなっていないことを感じました。国は何をしているのだろうか。広域災害は各自自治体が個々に進めるのではなく、国と広域連携で行うべきものと考えています。(70代/千葉県)
- ・ 復興はまだまだ続いており、日々生きていかねばならない。(40代/東京都)
- ・ 震災が起きても協力しましょうね(40代/福島県)
- ・ 今回初めて福島県、浪江町へ行きました。浪江町での復興計画の裏側など、報道では取り上げられていない話を聞き、考えさせられました。皆さんの経験や思いを伝えていくことはとても大事なことだと思います。またぜひ行きたいと思います！(40代/香川県)
- ・ 様々な震災遺構を回ってきて、どの場所も人が暖かかったです。また、恩返しをすること、人との繋がりを大切にすることが強く伝わったので静岡に持ち帰って南海トラフ地震が起きた際に同じようなことが起きないように活かしていきたいです。(20代/静岡県)
- ・ 災害時の計画や避難訓練ができていて、また、地震が起きたら、津波が来る、高いところに逃げる必要があるという常識を理解していたから子供たちを守れたんだと思います。教育や防災について考え直す場に

なっております。(50代/東京都)

- ・応援しています。また必ず訪ねたいと思います。(40代/山形県)
- ・震災遺構を見学したのは初めてで衝撃を受けましたが、将来の人の為にも伝えていきたいと思います。(40代/埼玉県)
- ・浪江町がどんな町なのか請戸小の展示で知り、ずっと海と一緒に生きてきたとても力強い人々だと感じました。また浪江町を訪れて、もっともっと浪江町のことを知っていろんな魅力に触れたいです。また来ます!(20代/福島県)
- ・これからの復興作業、大変なこともあると思いますが、頑張ってください!(10代/神奈川県)
- ・この街がまた素敵な町になっていくことを祈っています(40代/未回答)
- ・被害の様子を実感することができました。この遺構はこれからも残し続けてほしいです。(20代/神奈川県)
- ・請戸小学校を一般公開していただいていることにとっても感謝しています。(50代/未回答)
- ・また浪江に足を運びたいと思います。(50代/神奈川県)
- ・頑張ってください(10代/静岡県)
- ・生きるの頑張りたいと思いました(20代/神奈川県)
- ・震災遺構という場を設けていただきありがとうございます。実際の施設や記録を見ることで動かされる感情が多くありました。また訪れたいです。ありがとうございました。(20代/神奈川県)
- ・いわき市在住ですが、初めて請戸小に行きました。原発のこともあり、まだまだ復興には時間がかかると思いますが、お互い明るい未来のために生きていきましょうね!(30代/福島県)
- ・2024年8月ぶりに伺いました。まだまだ復興というには道半ばで、小学校の管理保全も大変と思いますが、震災の記録を伝えていくことは素晴らしい試みだと思いますので、応援しています。(30代/神奈川県)
- ・請戸小学校の様子を見て、当時の状態にとっても衝撃を受けました。あれから15年ですが、忘れてはいけない、伝えていくべきだと思います。応援しています!(50代/千葉県)
- ・これまで大変なご苦勞をされてきたと思います。どうかお元気で過ごしてください。(40代/未回答)
- ・皆さんが安心して暮らせるよう心から祈ってます(40代/栃木県)
- ・昨日請戸小学校を訪れ道の駅で食事をしました。新聞の投書に1人でも多くの人に訪ねてもらいたいと千葉県の方が書かれていました。私も今度は娘や孫と一緒にいきたいと思います。(50代/埼玉県)
- ・浪江町の皆さま、日々の暮らしの中で、地域を支え合いながら歩んでこられた皆さまに、心から敬意をお伝えします。この町が持つ強さと優しさは、どんな困難の中でも前へ進む力になってきました。災害はいつ

起きるか分かりません。だからこそ、「備えること」が私たちの命と暮らしを守る最も確かな力になります。(20代/埼玉県)

- ・今後も復興活動は長く続くと思いますが、負けずに頑張ってください。応援しています。(20代/東京都)
- ・また来ます。みんな元気で!(50代/福島県)
- ・貴重な経験をさせていただきました。当たり前の日常を突然失う恐怖、絶望は計り知れません。皆様の故郷がより豊かになっていくことをお祈り申し上げます。(20代/福島県)
- ・請戸小学校の遺構にはじめて見学しました。津波の恐怖と、震災時の校長先生の勇気に感動しました。請戸小学校を残すことには反対もあったと思いますが、是非貴重な建物として後世に残してもらいたいです。(40代/未回答)
 - ・浪江町の皆様が少しでも早く元と同じような生活ができることを願っています。(10代/東京都)
- ・何度か浪江に伺いました。請戸小学校や大平山にも行きました。道の駅や道路など整備されていますが、依然として平地の部分もありました。みなさんは15年経っていかがですか。また浪江町にお邪魔します。(50代/茨城県)